

日本ネットワーク 中国・四国・九州・沖縄

卷之四

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前4丁目14番1号
深見ビル
TEL (092) 472-3887

(岡山市西大寺新地)で、ミックサーメタル選別体制を構築した。アルミニウムを分離回収する設備を共同開発し、このほど同工場で稼働させた。これにより、純度の高いアルミニウムの回収が効率的にに行えるようになり、高付加価値商品として販売できる。今後、既設装置と組み合わせて利用していくこととなり、より効果的に稼働させていくための方針も採っていく。

導入した装置は、平林金属と岡山大学リサイクル関連設備メタルバーの永田エンジニアリング(北九州市山本雄造社長)の3者が共同開発した「乾式比

重分離装置」。

同装置は非鉄金属を分別する「アーマニウムの選別槽(幅1.5m×奥行き0.6m×深さ0.5m)」などで構成する。粉体

を入れた槽内に下部から熱風によく空気を送り出す。これにより槽内に浮遊する、比重が軽いアルミニウムは、比重が重いそのほかの重金属は沈没する。そのほかの重い物質は沈むため、こ

れによる物質を分離することができる。固気流動層が持つ液体に類似した性質を利用したことから効率的な作業につながるとともに、ラントンケースト式比重分離装置ではこれからの後工程が不要にならうことから効率的な作業につながるとともに、ラントンケースト式比重分離装置ではこれの回収されたアルミニウム削減効果も見込まれる。回収されたアルミニウムは溶融しているところを、きれいなままで取り出せる。西大寺工場には、これまで金属性とこれ以外のものとのを分別する金属・色彩選別装置、渦電流により選別する

装置を相次ぎ導入している。乾式比重分離装置と既存の選別システムと組み合わせて使い、選別精度を高める。手選別で回収が難しいものにも対応できる。これにより、ミックスメタル選別の工程が確立された。

ミックスメタルは海外へ輸出されることが多い。国内でも安価で選別回収ができる方が求められている。社では「新しい設備純度の優れた再生資源を取り出していく」と現状は、研究開発

に落ち着いて取り組め
る時期。需要が高まつ
てきた時に対応できる
ようにならねたい。(平林
美副社長)としてい
て、今後もレアメタル
の回収技術や装置運用
策の研究を進めてい
く。

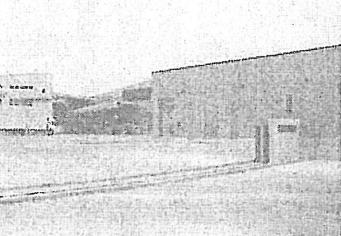
西大寺工場は岡山市
所構内に設置する。

西大寺新地の新産業工
場が開設され
拠点。敷地には約16
25平方メートルのアメタ
ル回収作業を行なう建物
と興品倉庫などを使わ
れている約1300坪
方辺の建物のほか事務

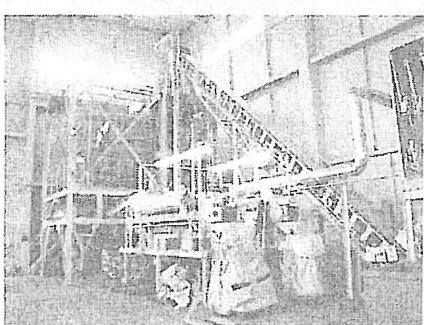
平林金屬
西大寺工場

ミックス メタル 選別体制を構築

新設備でアルミ回収効率化



西大寺工場



導入した乾式比重分離装置